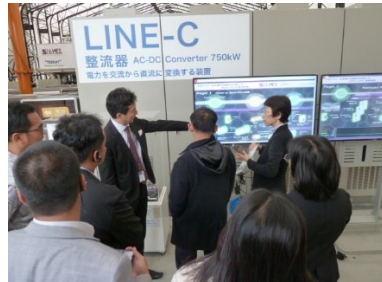


令和6年度 ASEAN向け省エネ受入研修（ECAP34）を実施しました

【事業概要】 一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、資源エネルギー庁の委託を受けてASEAN多国間省エネ協力（AJEEP）のScheme 5 事業を実施しております。その一環として、ASEAN各国政府の省エネ政策関連部門の担当者を対象に、日本での受入研修を以下内容にて2024年11月12日から15日の4日間実施し、ASEAN諸国における産業部門のカーボンニュートラル（CN）に向けた政策促進の支援を行いました。



講義



施設見学



グループ討議

世界的に地球温暖化が喫緊の課題となっておりCNに向けた政策が求められている中、日本政府はグリーントランスフォーメーション（GX）に関する基本方針を昨年取り纏めて関連する制度・支援策の検討を進めています。また関連の専門機関や民間企業等においてもCNに向けた支援や技術開発等が進められています。

本研修で参加者は、水素関連技術を中心に日本の先進的な取り組み内容・普及施策を理解し、またASEAN内で他国のCNに向けた政策・制度の最新情報を共有しました。更に、自国でCNに向けた政策・支援策を推進するための課題等に関して討議し、政策案を整理し情報共有を行いました。

本研修を実施したことで、政策立案者として参加者の能力向上を効果的に支援できました。

また、ASEAN地域における日本企業による事業展開の環境づくりにも貢献できました。

【研修実施概要】

- (1) 日本及びASEANのCNに向けた最新政策・支援策に関する情報共有
- (2) ASEAN諸国における日系企業の事業展開状況及び専門機関の支援スキームの紹介
- (3) 産業部門における日本企業/専門機関によるCNに向けた水素関連の具体的取り組み事例・新技術等の紹介
- (4) 施設訪問視察（水素等の製造、供給、販売、エネルギーサービス、貯蔵、輸送、利用の普及に関する具体的取り組み・実証事例 - P2G(Power to Gas)事業）
- (5) 参加者による自国のCN関連政策・支援策内容と課題等の発表及び各国での推進・課題に関する討議と纏めの情報共有

* AJEEP : ASEAN-Japan Energy Efficiency Partnership（アセアン諸国に対する省エネ人材育成協力）
ECAP : Energy Conservation Workshop under AJEEP（AJEEPのもとに実施される受入研修）